

News Release

2018年2月7日

昭和産業株式会社 平成30年3月期第3四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：新妻一彦）の平成30年3月期第3四半期連結決算は、売上高177,063百万円、経常利益6,355百万円となりました。平成30年3月期通期連結業績予想については、売上高243,000百万円、経常利益8,300百万円を見込んでおります。

【平成30年3月期第3四半期連結決算】

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、為替や株価の不安定な動き等により、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社90周年を迎える2025年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」を策定し、その実現に向けた1st Stageと位置付ける「中期経営計画17-19」を昨年4月よりスタートいたしました。5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③社会的課題解決への貢献」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各種施策の推進に努めております。

「②事業領域の拡大」において、アジアへの事業展開を加速化させるための重要な一歩として、台湾・中国・東南アジアで食品・飼料・外食などの事業を幅広く展開している台湾大成集団と、昨年10月2日付けで業務提携契約を締結いたしました。また、本年1月には成長著しいベトナム市場に対してより一層の経営資源を投入すべく、ベトナムのホーチミン市に当社100%子会社である Showa Sangyo Vietnam Co.,Ltd を設立しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は177,063百万円と前年同期に比べ1,145百万円（0.6%）の減収となりました。営業利益は5,442百万円と前年同期に比べ2,699百万円（33.2%）の減益、経常利益は6,355百万円と前年同期に比べ2,512百万円（28.3%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,250百万円と前年同期に比べ1,417百万円（25.0%）の減益となりました。

【平成30年3月期連結業績予想】

第4四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成29年5月12日に公表した平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

以上

この件に関する報道関係の方々のお問い合わせ先
昭和産業株式会社 経営企画部
コーポレート・コミュニケーション室 担当：久田
〒101-8521 東京都千代田区内神田2丁目2番1号
TEL：03-3257-2042
FAX：03-3257-2097